

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



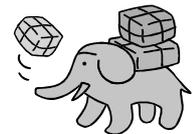
No. 39

2014年3月発行

事務所を移転しました。

住所録のご変更を

よろしくお願いいたします。



1月にNPO法人の事務所を隣町に移転しました。2014年1月1日付けで、大阪市から放課後等デイサービス事業の許可ができました。それに伴い、放課後等デイサービス事業所と同じ場所に事務所を構えました。正月から事業の開始準備や事務所の引っ越しと慌ただしい日々で、会報の発行が大変遅くなりました。申し訳ございません。

新しい事務所は、古い大きな一軒家です。いろいろな人が訪れてくださることで、人の集うあったかな居場所になっていくと思います。今まで通り、地域の方々とのつながりのなかで活動を続けていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

10周年!!!

2004年春にNPO法人を立ち上げて、様々な地域福祉の活動に取り組んで10年が経とうとしています。NPO法人設立前の2000年より活動を始めました。障害当事者や関係者の方々と「草の根ネットワークねっこ」を立ち上げて障害児者が暮らしやすい町づくりの活動を始め、子育て中のママたちと「あさひ子育てネットワークきしゃぽっぽ」を立ち上げて子育てのしやすい町づくりの活動を始め、医療的ケアの子どもたちの家族の会や脳血管障害者の会などのセルフヘルプグループ（当事者会）の立ち上げを行いました。そして、「出会い つながり 夢を語ろう」とNPO法人を設立して、区社会福祉協議会と協働の福祉教育の取り組み、不登校児支援のネットワークの立ち上げ、障害児の余暇を充実させるためのイベントや障害児の保護者向けの研修会や交流会などを行ってきました。

素敵な出会いがたくさんありました。当法人が行ってきた「つながり」づくりは、旭区のアクションプランや旭区地域自立支援協議会、旭区の子育て支援の「あさひの輪」などにつながっていきました。当法人も、旭区のアクションプラン「あさひあったかまちづくり」では、障害児者班での活動と「あさひあったかきち」の運営委員として参画したり、旭区地域自立支援協議会にも参加し、子ども部会のメンバーとしても活動をしたりしています。その時その時に必要な種を撒き、状況に応じて柔軟に形を変えていくことが大切だと思ってきました。地域住民が主体となって活動することが、町づくりの活動を活発化することになると実感しました。



そして、2007年からは、障害をもつ子どもの地域生活支援事業を活動の中心において、「子どもからはじめる『個人将来計画』」の試行を始め、2010年からは「自立生活プログラム・子ども版」のモデル事業を行ってきました。障害をもつ子どもたちと共に制度やサービスにない活動にチャレンジしてきました。

収益事業を行ってこなかった当法人は、毎年、さまざまな助成金をいただいて活動を行ってきました。それは、年度ごとに区切られた活動であり、開催場所を転々とする活動でした。腰を据えて実践を継続できる場所、地域の方々やボランティアの方々が集う場所、子どもたちがホッとできる居場所をつくりたいという夢を描くようになりました。そして、今年、夢を形にする第一歩として、放課後等デイサービスを開始することにしました。

NPO法人設立から10年、再び、新しい一歩を踏み出します。この一年は、10年間を振り返り、初心に戻り、その上で、新しい活動に取り組んでいきたいと思っています。どうぞ、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

放課後等デイサービス「楽童ほうふ」を立ち上げました (がくどう)

障害をもつ子どもたちが、放課後や余暇に充実した時間を過ごし、地域のつながりのなかで育ち、地域で暮らし続けていくことを目指して、放課後等デイサービス「楽童ほうふ」を開きました。「子どもからはじめる個人将来計画」の手法を活用して、一人ひとりの計画を作成し、グループ活動と個別活動を組み合わせて、地域の福祉・教育・医療などの様々な機関や地域の方々と連携しながら、それぞれの子どもの生活を豊かにする活動に取り組んでいきたいと思っています。

これから、障害をもつ子どもたちと家族の方々、そして、地域の方々と、スタッフが一緒になって、「楽童ほうふ」を創っていききたいと思います。障害をもつ子どもと家族だけではなく、地域のみなさんが出会い、つながり語りあい、夢をかなえていく場を、みなさんと一緒に創っていくことができればと思っています。

昨年、場所を探し申請準備をしてきました。物件を見て回り、清水に大きな一軒家を見つけました。立派な家ですが、庭木が多いし、古くて改修が必要でした。庭の剪定をし、床の張替をし、子どもたちが過ごす部屋の窓を掃き出しに変えてスロープを付けました。素敵な場所ができました。NPO法人知恵工房 杉元様 斉藤様、小濱木材工業株式会社様、金城様、阪井様、石本ハウスエージェンシー様をはじめ、多くの方に助けていただきました。この場を借りて心よりお礼を申し上げます。

1月12日の午後にお披露目パーティーを開催しました。昨年12月より、ボランティアの学生さん達が、子どもたちが楽しむことのできるゲームを考えて、準備をしてくれました。お正月らしく「福笑い」コーナー、干支の馬の絵を貼ったペットボトルのボーリングコーナー、手づくり楽器コーナー、そして、アートバルーン。アートバルーンは、ボランティアの方が来てくださり、いろいろな物を作ってくださいました。また、飛び入りの腹話術もありました。子どもと学生さんのピアノ演奏もありました。広報が遅くなり十分に周知できなかったのですが、参加者は、子ど

も5人、大人18人、学生ボランティア10人、NPOとデイのスタッフ8人でした。障害児の家族だけではなく、町会や民生委員の方々をはじめ地域の方々、遠くから自立生活センターの方、お世話になった児童デイの職員さんなど、いろいろな方が来てくださいました。たくさんのお祝いをいただきました。本当にありがとうございました。

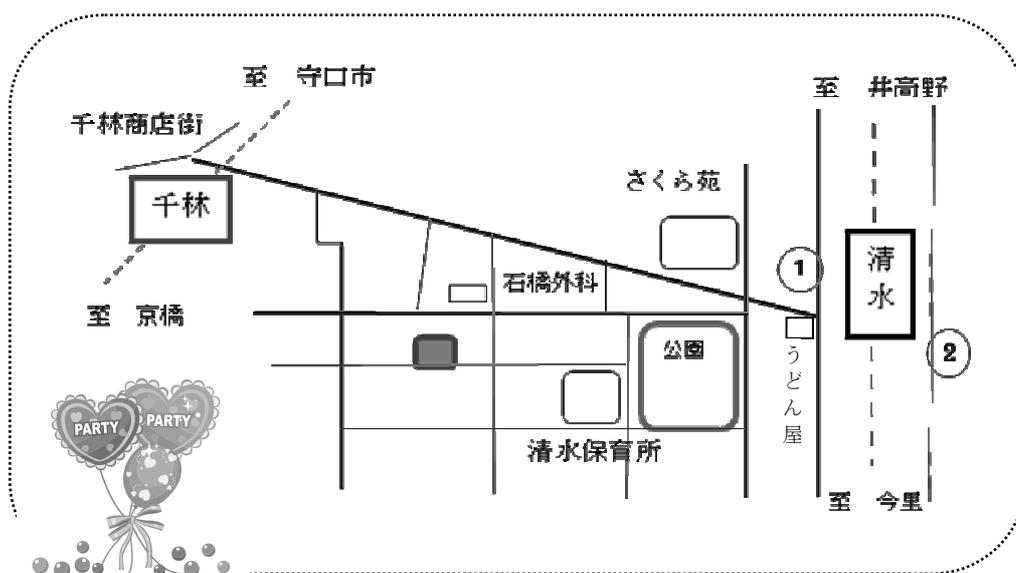
いろいろと大変でしたが、なんとか立ち上げることができました。でも、本当に大変なのはこれからです。事業をするということは、人を雇うということ、利用者がなければ収入もないということ。今までのようにはいきません。けれど、私たちが大切にしてきた想い—当事者主体、生活者としての視点、寄り添って一緒に考え行動していく姿勢—が、ぶれないようにしたいと思います。「サービス先がありき」ではなく、人が先にあり、「今ここに居る」ということが尊いという想いを忘れないようにしたいと思います。

みなさま、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

つながりの中で暮らす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく

がくどう
楽童ほうび 大阪市旭区清水2丁目16-22

京阪電車 千林駅/大阪市営地下鉄今里筋線 清水駅 いずれも徒歩5分



放課後等デイサービスの立ち上げに追われ、今年度は会報の発行が遅れ遅れになってしまいました。新事務所の庭木のつぼみが膨らみ、春が近づいたことを感じます。事務所移転の運搬や掃除、様々な物品の寄付、ご近所の方々にたくさん助けいただきました。町会も温かく迎え入れてくださいました。事業を始めたことで、新しい出会いもたくさん始まります。地域に根ざした活動で感謝の気持ちをお返ししていきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

